

②③ 徳川家康書状

〔年不詳〕

猶々委、村井可申候、
昨日西丸にて申候事、
いかゝ納申候や、承
度候、相違無之候
やうニ馳走尤存候、
徳石見方へ右之通
申遣候、恐惶謹言、
九月八日 家康(花押)

読み

昨日西の丸にて申し候事、
如何納め申し候や、承り
たく候、相違これなく候
様に馳走、尤に存じ候、
徳石見方へ右の通り
申し遣わし候、恐惶謹言
九月八日 家康(花押)
なおなお委しくは、村井申すべく候、

内容

昨日西の丸において話したことは、
どのように納まりましたか、お聞き
したいです。間違いがないように
尽力するのは、その通りに思います。
徳永石見守(徳永壽昌)の方へ右の通りに
申し遣わします。恐惶謹言

九月八日 家康(花押)

なお詳しくは、村井が申します。